

新潟県中越地震復興支援ニュース（第15号）

平成16年12月24日
総務省消防庁

総務省消防庁では、新潟県中越地震に伴う復興支援の状況について、地方公共団体による支援の情報等をお知らせしてきたところですが、発災直後の10月24日の発刊からちょうど2ヶ月が経ちました。

この間、消防庁では応急対応をはじめとする様々な支援及び情報の収集・整理をしてまいりましたが、避難所等への避難もなくなり、本格的な復旧・復興への取組が開始されたことにより、発災直後の支援のために消防庁が発行してきた本ニュースも一定の役割を果たせたのではないかと考えています。また、消防庁災害対策本部が本日15時をもって解散（応急体制解除）されました。

そこで、本号をもって本ニュースの定期発行については終了することといたします。

本ニュースの発行にあたりご協力いただいた関係各位に、改めてお礼を申し上げます。

<12月10日～12月24日の状況>

新潟県中越地震に係る財政上の支援について

政府における財政支援措置としては、既に激甚災害の指定が11月26日に閣議決定されていますが、その他決定されたものについては次のとおりです。

1 補正予算

平成16年度補正予算において講じた災害対策経費のうち、新潟県中越地震に対するものは、約3,000億円が盛り込まれることになりました。

2 新潟県要望への対応（補正予算への計上等）

新潟県からの要望に対し、次のとおり対応することとなりました。

① 阪神・淡路大震災の際に講じた特例措置については、ほぼ同様に講じる。

（例）消防施設（耐震性貯水槽）	補助率	1/2	→	2/3
水道施設	補助率	2/3	→	8/10
公立病院	補助率	1/2	→	2/3

② 被災地の特殊性等を考慮し、阪神・淡路大震災の際には講じなかった措置についても、必要なものについては講じる。

（例）農業集落排水施設	補助率	1/2	→	8/10
がけ崩れ対策事業				宅地擁壁（2戸以上）を対象

3 復興基金

復興基金については、3,000億円規模の復興基金（事業規模は10年間において600億円程度）の造成に必要な地方債の許可とその利子支払額に対する交付税措置を行うことになりました。

新潟県中越地震復旧・復興支援会議（第3回）の開催

「新潟県中越地震復旧・復興支援会議」の第3回会議が12月16日（木）に開催され、新潟県からの要望に対する関係省庁の検討状況等について報告が行われました。

ライフライン（電気、ガス、上下水道）及び公営企業関連施設の災害復旧の状況

12月24日現在、ライフライン及び公営企業関連施設の復旧状況は以下のとおりです。（新潟県、総務省公営企業経営企画室において把握しているものを取りまとめ）

区分	時点	状況	出典
電気	12月22日 16:00 現在	<u>停電戸数</u> 約570戸 (内訳) 山古志村の一部 約500戸 小千谷市の一部 約70戸	新潟県
電気事業	12月22日 現在	新潟県企業局 被害なし	総務省公営企業経営企画課
都市ガス	12月24日	<u>供給停止戸数</u> 約47戸 (内訳) 小千谷市ガス水道局 約47戸	総務省公営企業経営企画課
上水道	12月22日 12:00 現在	総断戸数 129,750戸 復旧済戸数 128,737戸 復旧率 99.2% <u>断水戸数</u> 1,013戸 (内訳) 山古志村（全地域） 650戸 小千谷市 318戸 川口町 16戸 十日町市 29戸	新潟県
下水道	12月22日 16:00 現在	①公共下水道施設 <u>使用不能戸数</u> 46戸 (内訳) 長岡市 27戸 旧堀之内町 19戸 ②農業集落排水施設 一部使用不能 川口町、柏崎市	新潟県
工業用水道事業	12月24日 現在	新潟県栃尾工業用水道事業 ・10月23日20時、管路損傷の可能性のため給水停止 ・10月26日、仮復旧工事終了。全ユーザー給水再開。 小千谷市工業用水道事業 ・10月23日、全面断水 ・10月30日、仮復旧により一部再開 ・12月9日、配水能力の80%（約20,000m ³ /日）の給水が可能。	総務省公営企業経営企画課

新潟県中越地震によるライフライン復旧及び避難の状況

12月22日、新潟県によると、ライフライン復旧及び避難状況については以下のとおりです。

新潟県ホームページ上の以下のアドレスに同資料が記載されています。

http://saigai.pref.niigata.jp/content/jishin/life_h_h.pdf

平成16年新潟県中越地震によるライフラインの復旧及び避難の状況

市町村名		ライフライン(12月22日16時00分現在)					電話(12月22日現在)	
		電 気	都市ガス*1	上水道	下水道*2		固定電話	携帯電話
					公共下水道	農業集落排水		
長岡市	※	○	○	○	△	○	○	○
山古志村	※	△	—	×	—	—	×	△
小千谷市	※	△	△	△	○	○	△	△
川口町	※	○	○	△	○	△	○	○
魚沼市	堀之内町	※	○	○	○	△	○	○
	小出町	※	○	○	○	○	—	○
	湯之谷村	※	○	○	○	○	○	○
	広神村	※	○	○	○	○	○	○
	守門村	※	○	—	○	○	○	○
	入広瀬村	※	○	—	○	—	○	○
十日町市	※	○	—	△	○	○	○	○
		×0 △2	×0 △1	×1 △3	×0 △2	×0 △1	×1 △1	×0 △2

注) 合併後も当分の間は旧市町村名で表示

※ 災害救助法適用団体(上記のほか43市町村、合計54市町村)

○ 復旧 △ 一部復旧せず × 全域復旧せず

*1 — はLPガスのみ利用(支障なく供給) *2 — は該当する下水道施設なし

新潟県中越地震復旧・復興GISプロジェクト(続報)

11月15日に始動しています新潟県中越地震復旧・復興GISプロジェクトにおいて、12月22日までに「被災建築物応急危険度判定結果」、「被災宅地危険度判定結果」、「応急仮設住宅建設状況」、「下水管渠詳細調査延長」を市町村別情報として追加しています。

詳細は、下記のアドレスからご確認ください。

<http://chuetsu-gis.nagaoka-id.ac.jp/>

新潟県中越地震災害義援金の件数及び金額

12月24日現在、新潟県災害対策本部出納部によると、360,446件、124億5,226万6,072円の義援金が寄せられているとのこと。

なお、受付期間については、当初平成16年12月30日までの予定でしたが、平成17年10月24日まで延長されております。

地方公共団体からの支援状況

発災直後から11月30日までに地方公共団体において実施された支援活動について、現在、消防庁で調査をしています。今後、精査し検証していきますが、現在のところ次のような概要となっています。

【物資支援の主な状況】

非常食	272,789食
乾パン	222,368食
米	868,745食
飲料水	606,174本
毛布	142,412枚
簡易トイレ	24,901基
ブルーシート	50,335枚
おむつ	445,262枚
生理用品	184,550個

非常食、乾パン、米以外の食料（バナナ、サバイバルフーズ等）を併せて換算した総提供食数は、2,507,963食

地方公共団体からの職員派遣

発災直後から11月30日までに地方公共団体において実施された支援活動について、現在、消防庁で調査をしています。今後、精査し検証していきますが、11月末現在で、9,915名、延べ41,979名の地方公共団体職員が新潟県及び県内市町村に派遣されています。

【主な業務別派遣数】

避難所管理・運営	1,512名
給水活動	793名
上下水道復旧	690名
建築物応急危険度判定	1,088名
被害調査	504名
医療・保健	1,335名
健康相談	920名
現地での物資搬送・仕分	902名

※他に連絡調整要員、被災宅地危険度判定士等

【主な派遣先】

小千谷市(2,682名)、長岡市(2,380名)、十日町市(1,182名)、川口町(1,097名)

新潟県災害救援ボランティアの参加状況等

新潟県災害救援ボランティア本部によると、各ボランティアセンターが設置されてから12月21日までのボランティア参加者総数は75,971名になりました。
今後、次のようなボランティア活動を主に求めています。

- ・避難所における運営補助
- ・避難所における個別の支援活動（子守、介護、高齢者の話し相手など）
- ・避難者への救援物資の配送支援
- ・被災家屋の片付け（安全が確認された家屋のみ）
- ・仮設住宅等への引越支援
- ・除雪作業（特に雪国での居住経験や除雪作業の経験者、冬山登山などの経験者）

各ボランティアセンターの状況については、下記からご確認ください。

【新潟県災害救援ボランティア本部】

住所：新潟市上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3

TEL：025-281-5527 / FAX：025-281-5529

<http://www.nponiigata.jp/jishin/>

連絡先	防災課震災対策係
	震災対策専門官 植田
	事務官 森高
電話	03-5253-7525
FAX	03-5253-7535
E-mail	ueda-t@fdma.go.jp
	moritaka-k@fdma.go.jp